

Investigating the plastic deformation mechanisms of a twinning-induced plasticity steel using advanced transmission electron microscopy

ジェサダ, プンヤフ

<https://hdl.handle.net/2324/7157367>

出版情報 : Kyushu University, 2023, 博士 (工学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

氏 名	Jesada Punyafu			
論 文 名	Investigating the plastic deformation mechanisms of a twinning-induced plasticity steel using advanced transmission electron microscopy (先端透過電子顕微鏡法を用いた双晶誘起塑性鋼の塑性変形機構の解明)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	波多 聰
	副 査	九州大学	教授	村山 光宏
	副 査	金沢大学	教授	下川 智嗣

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、双晶誘起塑性鋼の一つである高マンガンオーステナイト鋼の塑性変形機構とその粒径および結晶方位依存性を、先端透過電子顕微鏡法を用いた結晶欠陥の直接観察から明らかにしたもので、金属工学の発展に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。